

社会資本整備審議会 道路分科会

第18回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日時 平成29年1月23日(月) 10:00~11:10
2. 場所 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
3. 出席者

[委員]

いづか 飯塚	あつし 敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授
うらお 浦尾	たか子 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと 川本	よしみ 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授
まきむら 槇村	ひさこ 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 客員教授
むねた 宗田	よしふみ 好史	京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長・生命環境学部 教授
◎山下 やました	あつし 淳	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

(1) 計画段階評価について

名神湾岸連絡線

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■計画段階評価について

- ・ 対策案の比較において「概ねの建設費用」を配慮すべき事項としていることから、「意見聴取結果のまとめ」にも記載すべき。
- ・ 沿道地域には、騒音・大気等の環境面について調査結果のデータ及び対応策を丁寧に説明しながら進めるべき。
- ・ 政策目標の「物流の活性化」は、広域道路ネットワーク構築による広域的アクセス性向上の方がわかりやすい。
- ・ 浸水想定区域を明示すれば、高架案が浸水に対して優位なことがわかりやすくなる。
- ・ アンケートで重要なことは、行政が想定していない意見が得られることで、その意見にも配慮しながら事業を進めていく姿勢を見せることが重要。
- ・ 阪神高速3号神戸線とは接続することが望ましい。
- ・ 本委員会の意見として、対応方針(案)の原案は妥当。